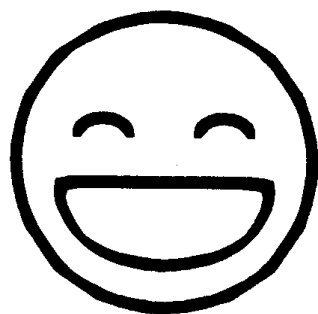


HSK

NPO 法人「文福」ニュース



一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月二回（一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二十、二三、二五、二八日）発行



「障」ちゃん



NO.305

冒頭の一言

木々が鮮やかに色づきはじめ、秋の深まりを感じる季節となりました。朝夕の冷え込みに、冬の足音を少しずつ感じるこの頃です。

スポーツの秋、食欲の秋、実りの秋、読書の秋、秋は何をするにしても行いやすいですよね。そんな秋の終わり 11 月があなたにとって充実した実り多い月となりますよう願っています。

今号も満載の内容となっています。ごゆっくりお読み頂ければ嬉しく思います。

kaokao

—もくじ—

| | |
|---------------------------|--------------------|
| 冒頭の一言 … 1 | 「まっち」33号の原稿大募集 … 2 |
| 障害者スタッフプレゼンテーション報告② … 3-6 | Penko … 7 |
| 障害者部会報告 … 8 | 今後の予定 … 9 |
| ありがとうコーナー … 10 | |

「まっち」33 号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」32 号テーマ『好きな食べ物』ができあがりしました。

いつもよりページ数も増えて、読みごたえがある「まっち」になっているかと思えます。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をお借りして本当にありがとうございました。m(__)m

さて、次号のテーマは『座右の銘』です。

ふとした時に心を支えてくれる言葉、日々の生活の中で貴方をそっと支えてくれたり、また背中を優しく押してくれたりするフレーズ、誰もがそんな「座右の銘」をお持ちだと思のです。

その言葉に出会ったきっかけやエピソードなどを書いて、ぜひ【まっち】にお寄せ頂ければ嬉しいです。

皆さんからのステキな原稿を編集者一同お待ちしております。

原稿締め切り 11 月末日 発行 12 月末です。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。

「まっち」編集者一同



障害者スタッフプレゼンテーション報告②

河上 千鶴子

1、私が生まれた時

母妊娠中毒症・・・数か月後脳性まひ、股関節脱臼と判明した。

2、地域の小学校

地域の子どもと一緒に学校に通う。からかわれても障害の自覚がなかった。
友達ともそれなりに遊ぶことができた。

3、中学 2 年から今でいう特別支援学校へ

近所の友達と遊ぶことができなくなった。障害者というレッテルを自覚せざるを得なくなった。

4、高校卒業後、アルバイトでの体験

初めて働いたところで「客が気持ち悪がっている」と言われる。私の親が挨拶に行った時に社長の奥さんに差別発言された。

5、家族

大きくなって障害が目立ち始めてから、人前に出さないように「何もできないくせに」という決めつける。特に父親が強かった。

6、障害者解放運動との出会い

全国の集まりに出て、障害者が介助者を使って、生き生きと活動している場面を見てショックを受ける。私でもできるのでは！

7、障害者は、恋愛や結婚や出産してはいけないのか？

「妊娠したかもしれない」と産婦人科を受診したが、良い顔をされず、得体のしれない注射を打たれそうになって逃げ帰る。

同様の経験は、現在の夫と別の産婦人科に行った時も経験した。

・・・旧優生保護法の影響。子供が生まれて、初めて遊園地に行った帰り道で、わざわざ戻って来て、乳母車を覗き込まれた。悲しい思い出がある息子は、4 人家族になっている。

8、障害があっても、恋愛・結婚・出産・子育てはできる。

本人・パートナーと、ボランティア、ヘルパーさんの助けは不可欠だが、

地域で暮らしていける。近隣者との関係があればできる。60代になり、脳性まひ特有の二次障害が重くなり、手術をしてから進行は、収まったが、以前よりは、介護が必要になっている。介護保険は、使いにくいので、重度訪問介護を使っている。

- 9、今は、重度訪問介護362時間。身体介護46、5時間になっている。前は、連れ合いがいるという事で、支給時間が少なかったが、連れ合いの入院で支給時間を長く変更するようにがんばった。今は、朝6時から夜9時まで、大体介助者がいる生を送っている。

【感想】

- ・今は「多様性」という言葉も出来、いろんな事を受け入れやすく少しずつなっている最近ですが、河上さんのお話を聞くと、その頃は偏見や差別、旧優生保護法のような生きづらい事がたくさんあったかと思うと胸が痛くなりました。きっとまだまだ、偏見や、障がいに対する間違った認識も少なからずあると思います。

私は、この「多様性」と言う言葉が障がい者はもちろん、いろんな生きづらさを感じる人たちみなさんが生きづらさを感じにくくなる素敵な言葉として浸透していく優しい世の中になるとイイなと思いました。

- ・子供を産んで育てる事は本当に大変と実感として感じています。でも困難から負けないというバイタリティーを感じます。目の前に困難がきたらさげたくありませんが、「負けない」ようにムリせず前に進もうと思います。

- ・昔ほどではないですが、今も差別は残っていると思っています。自分が介護の仕事をしてきたこともあって自分の子どもにはそういった差別をしないように教育していきたいなと思っています。

本当に必要な人に必要なサービスが行き届くように社会福祉制度が充実していけばいいなとは感じますが、やはりマンパワーが大事なので抜本的な改革が必要な気がします。

大野 啓子

こんにちは、よろしくお願ひします。

私は自分の言葉で話す事ができません。ヘルパーさんにしてほしい事や自分の意思を伝える時はジェスチャーで表現しています。

物や場所を指さしたり、単語を指で書いたり、身振り手振りで表現する仕草をします。

何を伝えようとしているのか、何を言いたいのかを焦らずによく見て想像してほしいです。

補聴器をつけていますが、聞こえにくいので、大きな声でゆっくり話してみてください。

上手く会話が噛み合わなくても繰り返し聞き直して欲しいです。私のジェスチャーを少しですが、紹介します。

・はい・いいえ・食べたい・飲みたい・ありがとう、さようなら・料理です。私の家には 3 匹の可愛いうさぎがいます。天国に旅立ってしまった子達を含めると、今までに 8 匹のウサギを飼いました。

天国の子達の名前は、全て平仮名で、「ながいき」「ちー」「みのり」「なーう」「きーな」です。

今、一緒に暮らしている 3 匹を紹介します。おっとりな性格の「みーち」と、暴れん坊の「りーた」と、わがまま姫の「なでしこ」と暮らしています。

介助に入られた時は苦手であれば 3 匹を可愛がってくれると嬉しいです。

【感想】

・何度も聞き返すと申し訳ないかな？と自分は思ってしまうが、焦らずによく見て何を言いたいのか想像してみてほしいと言われる、と安心できます。

・大野さんは自分の言葉で話す事ができませんが、ヘルパーに対して気ながに、根気強く何度もつきあってジェスチャーを指さし、単語で指を書いたり…、分かるまで、つきあって下さいます。初めて 1 つ分かった時の達成感

を覚えています。相手を理解するのは奥が深いです。焦らず 1 つ 1 つ大野さんの意思を理解して行うことができると大野さんと会話している感覚になりました。おもしろいです。

- ・ご自分の考えや思いが相手に伝わりづらい為、介助者は時間はかかりますが、理解し確認できるまで繰り返し聞く。(おちついてよく聞く)勝手な判断をしないように気をつけたいです。
- ・大野さんが今まで積み上げてきた生活の工夫が感じられた。
それを無駄にしないためにもこちらがしっかりと汲み取るようにしないと
いけないと感じた。

※次回は、福田氏・八木氏・村上氏の文章を掲載する予定です。



Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part73)

ここ数年、ユニクロやGUの服を愛用しています。

色やサイズ展開が豊富なのと、何よりもすべてのサイズの値段が統一されているのが魅力的だと思っています。

ベビー・キッズは60~160、レディースはS~3XL、メンズはS~4XLまであります。SSもあったかな。主に一番サイズが大きいのを着ています。

今年は、無地で同じTシャツを4色と、黄色いブラウスとちいかわのTシャツとえり付きのシャツを買いました。

Tシャツの色の展開が豊富でとても迷いました。どの色もよかったのですが、汚れが目立たないと思う色に絞り、茶・緑・黒・赤にしました。たまに価格が下がるときがあり、それを狙って買いました。赤は即決でした。

毎週金曜日に価格が変動されます。

家の近くにあるので、誘惑に負けてしまいます。

今年姪っ子に赤ちゃんが生まれ、ベビー服もたくさん買いまして、赤ちゃんの両親も喜んで、着た服やズボンなどを写真や動画で送ってくれて嬉しかったです。最近はベビーコーナーにへばりついています。

着なくなった服などは、リサイクルに出せるのでありがたいです。

9 月 2 日障害者部会報告

① 障害者部会員を増やすためのチラシ文について

作成してきたチラシ文を A4 紙を半分に折り、表と裏を使うリーフレットに、N 氏が 10 月の部会までに作成する。出来上がったリーフレットの配る方法は、出来上がった時点で部会で相談し決める。

② 障害者部会の活動について

障害者部会だけでイベントを実施するのは無理という事で、派遣事業部と一緒に考えていく事になった。このイベントの目的は、地域の人達に私達の事を知ってもらう事だ。

③ 重度訪問介護リーフレットと文福のパンフレットについて

以前、障害者部会で作成した重度訪問介護のリーフレットの問い合わせ先を、表面に記載する事になった。

重度訪問介護リーフレットの用紙を今後は、少し厚めの色がある用紙を使用する。

文福のパンフレットに関しては、派遣事業部で考えて直していく事になった。

次回の部会は 10 月 7 日(火) 14 時から事務所で行う。

文責 中村

◆今後の予定◆



このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎尾上浩二（おのうえ こうじ）さん講演会&ハンドベル演奏会

日 時：12月6日（土）13：00～16：00

会 場：富山市民プラザ3F AVスタジオ

日 程：13：00 受付開始 13：15 開会あいさつ

13：30～14：00 ハンドベル演奏

14：00～ 休憩（15分間）

14：15～ 尾上浩二さん講演 質疑応答

15：40 閉会あいさつ・終了

お問い合わせ先：富山生きる場センター

電話：076-491-3385

平日AM10：00～PM4：00

担当：田中さん

・尾上浩二さんの紹介

1960年大阪市生まれ。1歳で脳性麻痺の診断を受ける。養護学校（現・特別支援学校）、施設を経て、中学校から地域の学校へ通う。大阪市立大学入学後、障害者運動に参加。障害者差別解消法の制定や施行準備に関わる。1998年DPI日本会議事務局次長、2004年DPI日本会議事務局長、現在は副議長。障害者政策委員、内閣府・政策企画調査官、内閣府障害者施策アドバイザーを歴任。NPO法人ちゅうぶ代表理事。

・富山ハンドベルの会「ブルー・リンガー」の紹介

1995年4月、「だれでも簡単に音を出すことができる楽器（ハンドベル）を共に楽しもう」と、声楽家で音楽教師だった大成勝代さん（魚津市在住）の呼び掛けで発足しました。障がいのあるなしや年齢、性別に関わらずハンドベルの大好きなメンバーが集まり活動しています。メンバーは入れ替わりつつ、現在14名。今年で30周年を迎えました。私たちは音楽（ハンドベル）を通して、人と人のつながりを広め、かつ深め、ともに生きる社会を創ることを目的に活動しています。そのために様々な場所で演奏活動を行っています。

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう、11 月になります。今年も後、残りわずかになりました。

9 月下旬になりましたが、今日から 10 月です。さすがに朝晩は涼しくなりましたが、まだまだ、日中は残暑が続いているのでお風呂よりシャワーで良い気温です。秋の味覚で、今年は、サンマが良く採れて大きくて脂がのっていておいしいと言われていいます。本当に昨年から比べると安くて美味しいです。これから秋も深まり、夏の疲れが出て来る季節になります。

秋の味覚を食べてくれぐれもご自愛ください。
(アパッチ) より。

* 2025 年度新規会員・継続会員 *

川淵 三枝子さま

* いただきもの *

下伏 玲子さま 藤井 信平さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定 価 50 円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。